

# 令和元年度決算

下野市の令和元年度の決算がまとまり、9月開催の議会の市議会定例会で承認されましたので、お知らせします。

## ● 一般会計の決算規模と収支

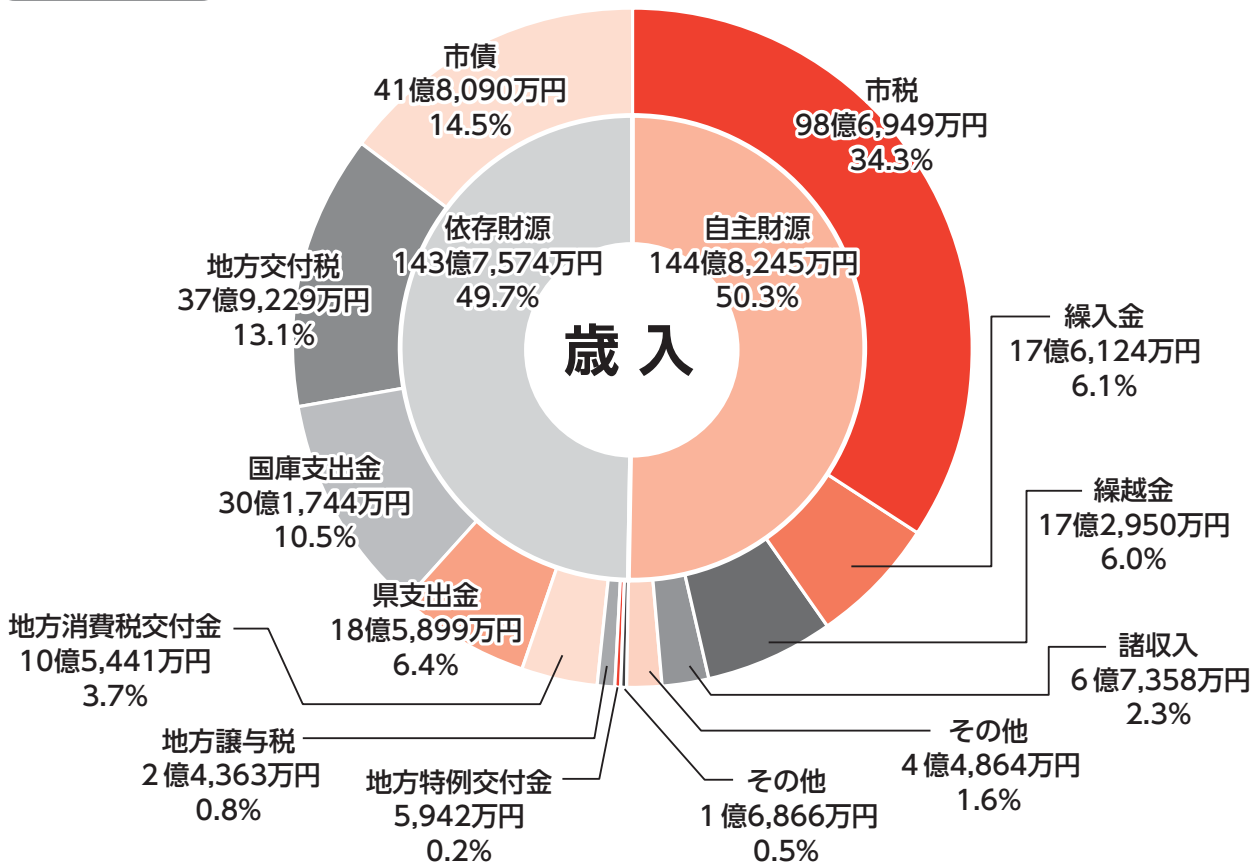
令和元年度の一般会計、特別会計及び水道・下水道事業会計を合わせた決算額は、歳入総額447億1,929万円、歳出総額420億9,527万円となりました。

一般会計については、歳入総額が288億5,819万円、歳出総額が267億7,027万円で、前年度と比べて、歳入が14億100万円、5.1ポイント増加し、歳出も10億4,257万円、4.1ポイント増加し、歳入と歳出の差引額は、20億8,792万円となりました。

## ● 一般会計

### 歳入の状況

# 288億5,819万円



### 市税収入の増加

給与所得の増加による個人市民税の増、新增築家屋の増加や新規の設備投資による固定資産税の増などにより、前年度に比べて1億815万円、1.1ポイントの増となりました。市税全体の徴収率は97.2%で、前年度より0.3ポイント上昇しました。

### 地方交付税の増加

普通交付税は、交付税算定基礎となる基準財産収入額において、市民税や固定資産税等が増となり、基準財政需要額においても公債費等が増となりました。普通交付税は前年度に比べて7,757万円増の31億5,581万円となりました。地方交付税全体では、前年度に比べて1億8,613万円、5.2ポイントの増となりました。

### 国庫支出金の減少

主なものは、児童手当負担金、子どものための教育・保育給付国庫負担金、生活保護費負担金、社会資本整備総合交付金で、前年度に比べて6億902万円、16.8ポイントの減となりました。

### 県支出金の増加

主なものは、子どものための教育・保育給付県費負担金、強い農業づくり交付金、障がい者自立支援給付費負担金等で、前年度に比べて3億9,397万円、26.9ポイントの増となりました。

### 市債の増加

合併特例事業債や公共施設等適正管理推進事業債等の増により、前年度に比べて5億5,900万円、15.4ポイントの増となりました。